

2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 哲学科 2年（留学年次） 2年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 淡江大学中国文学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年02月18日 ～ 2020年01月09日 出国日 2019年02月16日 最終帰国日 2020年01月11日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

言語は現地に行けばなんとかなると思っていたが、そんな簡単なものではなかった。最初は軽い気持ちで、「積極的に話して頑張ろう」などと思っていたが、自分の中国語の能力が思っていた以上に低く、会話などまともにできなかった。そのため最初の1、2ヶ月は中国語など話せるようになれるわけがないという諦めモードに入ってしまった。

しかし、ごくわずかではあるが単語、単語で会話ができるようになっていき、相手に言いたいことが伝わった時や相手の言っている意味を理解できた時の喜びが、「中国語を習得したい」という気持ちを高ぶらせてくれた。

この留学のスタートは自分の思った通りにはいかなかったが、それこそが今の自分への成長につなげてくれたと思う。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

上記でも述べた通り、「留学にさえ行けば言語を習得できる」、「あっちに行ってから頑張ろう」などという甘い考えを持っており、留学前は中国語の勉強など全くしなかった。そして留学生活が始まってからやっとインプットの重要性に気付き、現地でインプットに時間を費やす羽目になった。もちろん現地でのインプットもとても重要だが、日本にいたときにインプットをしっかりしていれば、現地ではアウトプット・インプットをもっと両立できたと後悔している。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業中は日本と比べて先生からあてられることが多い。また日本に比べて積極的に発言する生徒も多く、寝ている生徒も少ない。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

大学はとても大きく、中には郵便局や病院もあった。グラウンドも 24 時間開放されており、朝は老人の方々がウォーキングをしていたり、週末は子供たちがスポーツをしていたりと、まるで大きな公園のような感じだった。図書館も大きく、10 階まである。1 年間過ごして、大学内で不便だと感じることは全くと言っていいほどなく、とてもいい大学だった。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

1 日のすべての授業が終わった 18 時から 20 時まで、留学生を対象とした中国語の授業がある。レベルも初級から上級まで約 6 つのクラスに分かれており、自分に合ったレベルのクラスを受けることができる。もちろん全く中国語をやったことがなくても問題ない。しかも単位まで貰えるため、留学生からしたらとらない理由はない。また、月曜、木曜は中国語のスピーキングとリスニング、火曜日と金曜日はライティングの授業となっている。水曜日は中国語の新聞を読むという少し高度なもので、私はとっていなかった。

この 18 時からの中国語以外にも、留学生専用の授業はいくつもあり、留学生にとっては最高の大学だと思う。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

ハロウィンイベントや、クリスマスプロムなど大学内でたくさんのイベントが開かれており、台湾人の生徒と交流できる機会も多かった。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

奨学金は受けていないため、存じ上げません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安に関してはなんの問題もなく、喧嘩している人たちでさえ見かけたことがない。周辺はとても落ち着いており、穏やかな雰囲気だ。とてもいい場所である。

しかし、バイクには気を付けなくてはいけない。私自身も何度か事故を見かけている。日本と違って歩行者優先というものはないため、停まってくれると思っていたら危険である。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

とてもグローバルな大学で、外国人留学生もとても多い。場所もよく、キャンパスも比較的きれいで、とてもいい大学だったと思う。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
応用中文書寫 (2)	
電影與文學 (2)	
博物館 (2)	
世界人権問題 (2)	
中國思想史1 (2)	
中國思想史2 (2)	
中級2 華語聽說 (2)	
中級2 華語讀寫 (2)	
中級1 華語聽說 (2)	
中級1 華語讀寫 (2)	

3. 宿舎について

(1) 種類

✓大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 3500 元、(日本円) 約 13000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / ✓その他 (外食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

✓徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他 ()、計1分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

<良かった点>

- ・留学生用の寮であったため、色々な国の人と交流できた
- ・人数も多くないためみんなと仲良くなれた
- ・寮内でも様々なイベントがあった
- ・ロビーには多数のソファ、地下室にはソファに加え、卓球台、麻雀、映画スクリーンなど様々なものがそろっている
- ・乾燥機、ウォーターサーバーがついている
- ・大学内に寮があるため、教室にはすぐ着く
- ・寮の目の前がバス停、周りにたくさんお店があり、食に飽きない
- ・寮費が安い、そして自由

<悪かった点>

- ・壁が薄く、隣の部屋の物音がする
- ・シャワーがすぐにぬるくなる
- ・なかなか一人きりにはなれない

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約0元、(日本円) 約0円

※学習院大学に納める

(2) 渡航方法と金額

✓飛行機/船舶/その他(), (日本円) 約60000円

(3) 生活費

(現地通貨) 年額 約24万元、(日本円) 約90万円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

✓国際キャッシュカード/✓クレジットカード/国際ブランドプリペイドカード/✓現金/その他()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

<良かった点>

- ・心配せずに過ごせた
- ・コンビニでもお金をおろせるため、便利

<悪い点>

- ・コンビニ ATM の手数料は少し高い

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

(2) 保険料

円

(3) 加入した保険の種類、内容

(4) 感想、良かった点・悪かった点

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

✓手荷物／船便／SAL 便／✓航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

・日本の風邪薬

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

・特になし

(4) 持って行けば良かったと思う物

・ダウンジャケット

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

9～10 時	起床、朝食
10～12 時	授業
12～14 時	昼食、休憩
14～16 時	課題・自習
16～18 時	友達と過ごす
18～20 時	中国語の授業
20～22 時	夕食、友達と過ごす
22～24 時	運動、シャワー
24～26 時	課題・自習

(2) 週末

9～10 時	起床、朝食
10～12 時	課題・自習
12～14 時	昼食、休憩
14～16 時	友達と過ごす
16～18 時	課題・自習
18～20 時	夕食、趣味
20～22 時	運動、シャワー
22～24 時	課題・自習

8. 後輩へのアドバイス等

1 年間とはながいようであつという間です。その時間をどう過ごすかによって、人生は大きく変わるでしょう。私はこの 1 年間で言語以外にも多くのことを学び、感じました。留学でしか得られないあなただけの素敵な経験ができますよう、上を向いて頑張ってください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

このような多くの経験を得られたのも、国際センターの方々のおかげです。本当にありがとうございました。